

未来を守る、 私たちの選択

～親子で学ぶ子宮頸がん^{けい}とHPVワクチンのこと～

2024.8.3 **土** 12:30開場
13:00開演

参加無料

来場定員200名

※申込先着順、多数の場合抽選

後日
アーカイブ
動画公開!



場所 読売テレビ 10hall 大阪市中央区城見1丁目3番50号

出演者 原 千晶さん(タレント)/MC:八木 早希さん(フリーアナウンサー)
稲葉 可奈子さん(医師)/大阪市担当者

女性の多くが「一生に一度は感染する」と言われているヒトパピローマウイルス(HPV)。そのウイルスが原因で発症することのある子宮頸がん^{けい}。

聞いたことはあるけれど、よく分からないという方も多いはず。

しかし、この病気は、皆さんが正しい知識を持ち、意識を変えることで防げる可能性があります。

大阪市民の皆さんが、ご自身の体を守るために、子宮頸がんや、HPVワクチンについての正しい知識が身につくシンポジウムを開催します。

ゲストに、タレントの原 千晶さんをお招きし、ご自身の経験を伺いながら、病気のことや、予防の大切さを学べるプログラムとなっております。

自分や大切な家族のために。ぜひご来場ください。

プログラム

キーノートトーク 原 千晶さん

「子宮頸がん^{けい}になって気づいた、
自分の体と向き合うことの大切さ」

原さんご自身の2度のがんの経験についてお話ししていただきます。

パネルディスカッション 原 千晶さん、稲葉 可奈子さん、大阪市担当者 ほか

「正しい知識が命を守る。HPVワクチン接種で予防できる“子宮頸がん^{けい}”」

HPVワクチンについての正しい知識と、予防のためのワクチン接種の重要性について専門家を交えてお話ししていただきます。

参加申し込み方法

ご参加ご希望の方は、右記の方法でお申し込みください。応募多数の場合は抽選となります。抽選の場合は、当選者のみへ当選通知の連絡をもって代えさせていただきます。

WEB 下記URLまたは二次元コードよりお申し込みください。
<https://yab.yomiuri.co.jp/article/osaka-hpv/index.php>

締め切り/2024年7月24日



出演者プロフィール



タレント

原 千晶さん

1974年北海道生まれ
1994年芸能界デビュー。以降、TVや雑誌等を中心にタレント、女優として活動。
2005年30歳の時に子宮頸がん^{けい}と診断を受け、2009年に再び子宮にがんが見つかり、2010年1月より手術、抗がん剤治療を行う。2011年、自身のがん経験をもとに婦人科がん患者会「よつばの会」を設立。
現在ではがん啓発に関わるイベントや講演会に積極的に参加している。
一般社団法人日本がんアピアランスケア協会理事



フリーアナウンサー

八木 早希さん

1978年アメリカ・ロサンゼルスで生まれ、大阪育ち。2001年同志社大学文学部英文学科卒業。
毎日放送アナウンサー、NEWS ZEROキャスターを経て、ニュースを伝える他、大勢の政治家、著名人、ハリウッド俳優らへインタビュー、国内外の取材多数。コミュニケーション、女性活躍等に関する講演活動も行う。
ABCラジオ・TBSラジオ「チェンジの瞬間(とき)〜ガンサバイバーストーリー〜」のパーソナリティを務め、100名以上のガン経験者との対談経験を持つ。2児の母。



関東中央病院産婦人科 医師

稲葉 可奈子さん

京都大学医学部卒業、東京大学大学院博士課程修了。京都大学医学部附属病院(初期研修)、東京大学医学部附属病院、三井記念病院を経て2015年より現職。
産婦人科専門医、みんパピ! みんなで知ろうHPVプロジェクト代表を務め、子宮頸がん^{けい}予防や性教育など生きていく上で必要な知識や正確な医療情報とリテラシー、育児情報などを発信している。4児の母。

※プログラムや登壇者は予告なく変更となる場合がございます。

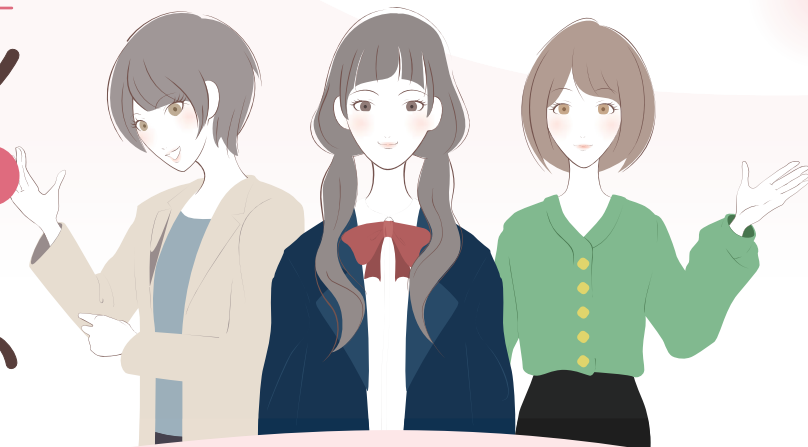
主催：大阪市健康局 健康推進部 健康づくり課 共催：読売新聞大阪本社

無料で接種できるあなたへ

HPVワクチン

子宮頸がん予防ワクチン

について
知ってください



▶ 子宮頸がんって何？

子宮頸がんは、子宮の入り口にできる「がん」のこと。
主にウイルスの感染が原因です。

このウイルスはヒトパピローマウイルス (HPV) といい、HPVは性交渉での感染がほとんどで、女性の多くが「一生に一度は感染する」とわれています。感染しても、ほとんどの人は自然に消えますが、一部の人は持続感染しがんになってしまいます。
子宮頸がんは20代後半から増加し、若い世代でも発症するがんです。発症のピークが女性の妊娠・出産年齢と重なることもあり、女性にとって深刻な病気だといえます。

予防方法

1 HPVワクチンの接種

国内で承認されているHPVワクチンの一つ、9価ワクチンは、子宮頸がんの原因であるHPVウイルスの感染を80~90%防ぎます。

2 子宮頸がん検診

HPVワクチンを接種していても、20歳を過ぎたら、子宮頸がん検診を定期的に行うことが推奨されています。

約9万円かかる HPVワクチンを無料で接種できます！

1 定期接種の方

対象 小学6年生から高校1年生相当の女性

接種期限 高校1年生相当の3月31日まで

※接種時に大阪府に住民登録のある方

2 キャッチアップ接種の方

(HPVワクチンの定期接種を逃した方)

対象 平成9年4月2日から
平成20年4月1日生まれの女性

接種期限 令和7年3月31日まで

※接種時に大阪府に住民登録のある方

※未接種の方(1回接種済み、2回接種済みの方は残り回数が対象となります。)

3回接種を完了するには6か月かかります。定期接種の高校1年生とキャッチアップ接種の方が、無料でHPVワクチン接種を受けるには、1回目の接種を令和6年9月までに終える必要があります。

▶ ワクチンを接種するまで

委託医療機関に予約



HPVワクチン接種可能な医療機関を選び、直接お電話のうえ、必ずご予約してください。

当日の持ちもの



①大阪府民であることを確認できるもの(健康保険証など) ②母子健康手帳や接種歴が確認できるもの ③予診票

ワクチン接種完了



2回目と3回目は、原則1回目と同じ種類のワクチンを予約し、忘れず接種してください。

詳しくはWEBサイトをご覧ください

